

令和6年度

教育行政執行方針(要旨)

帯広市教育委員会

1	はじめに	1
2	基本的な考え方	2
3	主な取り組み	3
	(1) 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり	3
	(2) 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり	5
4	むすび	6

1 はじめに

現代は、国際情勢の激変、AI技術の飛躍的進展、そして新型コロナウイルス感染症拡大の影響など、将来の予測が困難な時代となってきたおり、その特徴である変動性 (Volatility)、不確実性 (Uncertainty)、複雑性 (Complexity)、曖昧性 (Ambiguity) の頭文字をとって「VUCA」の時代とも言われています。

私たちを取り巻く社会が想像を超えるような速さで変化し、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しくなっている中、一人ひとりの幸せ「ウェルビーイング」を実現させていくためには、様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働しながら課題を解決していくことや、情報を活用したり、自分で考え、表現することができる力を育むことが求められています。

2 基本的な考え方

帯広市教育委員会では、帯広市教育基本計画で掲げる基本理念「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」に基づく施策を推進してまいります。

学校教育においては、多様な教育的ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、子どもたちが安心して学べる学習環境・教育環境の整備を進めていくほか、9年間の義務教育期間を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指した取り組みを進めてまいります。

生涯学習においては、市民個々の学びの欲求に応じ、多様で魅力ある学びの場を提供するほか、学びにより習得した知識や経験を地域で生かすことが出来るよう、市民の主体的な活動の支援に引き続き取り組んでまいります。

3 主な取り組み

(1) 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

学校教育については、小中一貫教育の推進を図り、義務教育9年間の連続性・系統性に配慮した教育に取り組むほか、コミュニティ・スクールの活動を推進し、地域全体で子どもの学びや成長・発達を支えてまいります。

併せて、地域住民や地元企業、大学、NPO法人などとの協働により、社会に開かれた教育課程の実現、並びに帯広の未来を見据えた人づくりと地域づくりを進めてまいります。

また、教育デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、多彩な授業づくりを進めるほか、不登校児童生徒への支援を充実してまいります。

教職員の負担軽減に向けては、第3期の働き方改革推進プランを策定し、校務支援システムの活用などの取り組みを進めてまいります。

施設整備については、小学校や義務教育学校の普通教室等へエアコンを設置するほか、小中学校の体育館照明のLED化を進めてまいります。

また、引き続き、老朽化への対応等を進め、安全・安心な教

育環境づくりに努めるほか、帯広市学校施設長寿命化計画に基づき南町中学校の長寿命化改修に向けた実施設計を行ってまいります。

学校給食については、新たなメニューの開発を進めるほか、食に関わる人たちの想いを発信し、食べることの楽しさや食への理解を促進するとともに、生産者等への感謝の気持ちを育ててまいります。

青少年の健全育成については、地域ぐるみで子どもたちを育てる取り組みを進めるほか、青少年センターにおいて街頭指導を行うとともに、関係機関・団体と協力し、青少年の非行防止活動に取り組んでまいります。

帯広南商業高等学校については、時代や社会ニーズに応じた実践力を身に付けられるよう、適時・適切な教育・指導に取り組む、学校教育目標の「社会に貢献する産業人の育成」を着実に推進してまいります。

(2) 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

生涯学習の推進については、開館 60 周年を迎える児童会館において、記念イベントを行うほか、科学展示室や遊び場などの施設整備を進めてまいります。

また、おびひろ動物園においては、令和 6 年 8 月に完成予定の新キリン舎等を活用し、動物たちがいきいきと暮らせる環境づくりと展示の充実を図るとともに、豊かな情操を育む教育の場を提供してまいります。

文化芸術活動の推進については、市民芸術祭や帯広市民オペラの会と連携した事業など、市民主体の文化芸術活動への支援や、市民ニーズを反映した魅力ある事業を実施してまいります。

スポーツ活動の推進については、フードバレーとかちマラソンや帯広市スポーツフェスティバルなどのイベント開催を通じて、市民が気軽にスポーツや健康づくりに親しむ機会を提供してまいります。

社会教育、文化、スポーツ施設については、安全・安心に利用できるよう、計画的な施設の改修・長寿命化に取り組んでまいります。

4 むすび

社会構造が変化し、先行き不透明な時代の中、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造できる人材の育成が求められています。

帯広市教育委員会といたしましては、子どもたちが自己肯定感を高め、未来に向かっていきいきと学べる教育環境の充実に努めていくほか、ふるさとの自然や歴史、文化、産業などを教材として生かし、学校教育・社会教育それぞれが連携し、すべての人が生涯にわたって学び続ける意欲を持てる教育を推進してまいります。

市議会議員の皆様をはじめ、市民・関係者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、教育行政執行方針といたします。